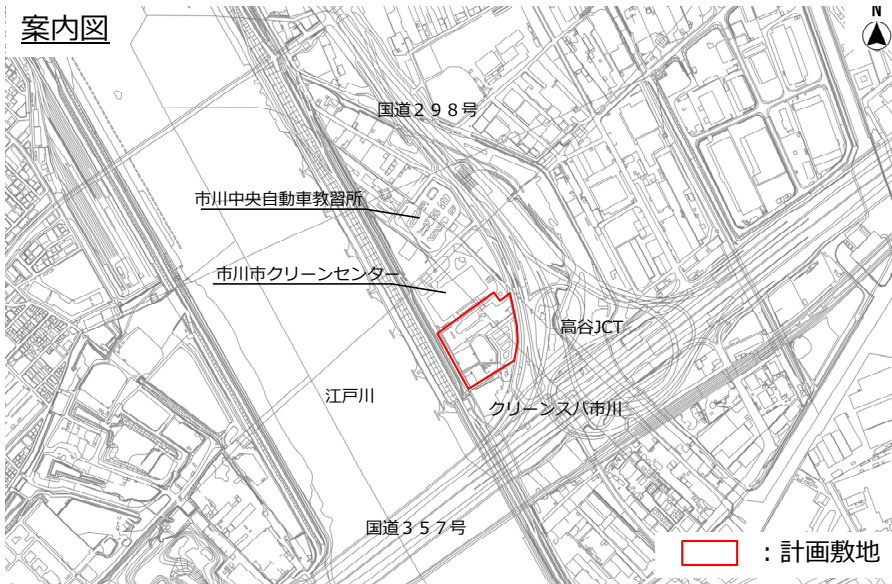


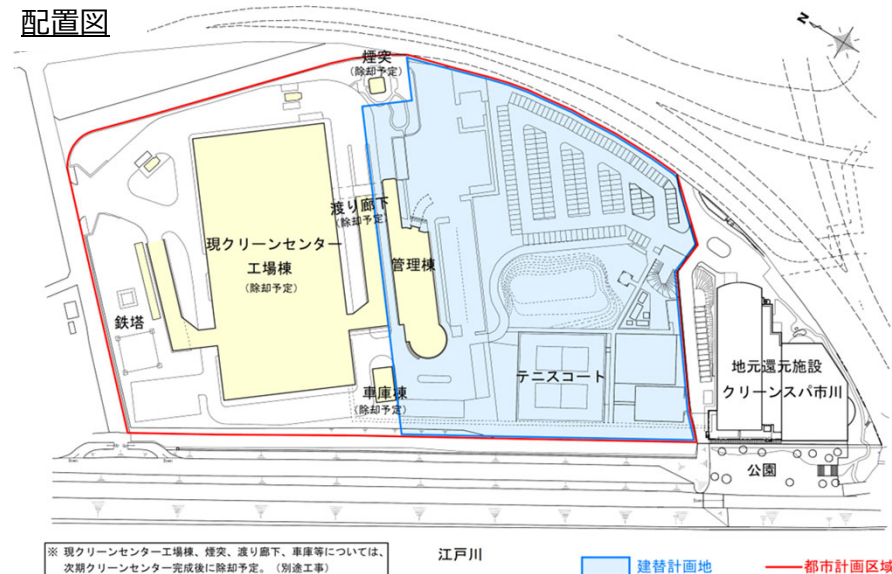
2. 市川市景観計画における区分及び特性・良好な景観の形成に関する方針

所在地	: 市川市田尻1003番1外	許容建蔽率	: 60%
景観ゾーン区分	: 市街地ゾーン	許容容積率	: 200%
敷地面積	: 約21,000㎡	高度地区	: 指定なし
区域区分	: 市街化調整区域	日影規制	: 指定なし

案内図



配置図



区分



景觀区分

: 市街地ゾーン

市街地ゾーン__景観街づくりの目標

【地域の魅力を高める、「豊かな表情」をつくる】
由緒ある寺社・広々とした公園・住宅地の巨木・古木など、
地域に表情を与える資源を大切に守り育て、個性と愛着の
もてるまちづくりをすすめる。

隣接する景観区分：河川・臨海ゾーン
幹線道路沿道ゾーン

河川・臨海ゾーン__景観街づくりの目標

【「美しい眺め」を守り、「水とのふれあい」をつくる】
河川沿いでは、水辺の自然を守りながら、広がりのある河川空間を生かし、人々が憩いや安らぎを得られる、水辺の景観づくりをすすめる。
臨海部では、海の景観に配慮した工場施設の景観形成や、水辺の景観に親しめる拠点づくりをすすめる。

幹線道路沿道ゾーン__景観街づくりの目標

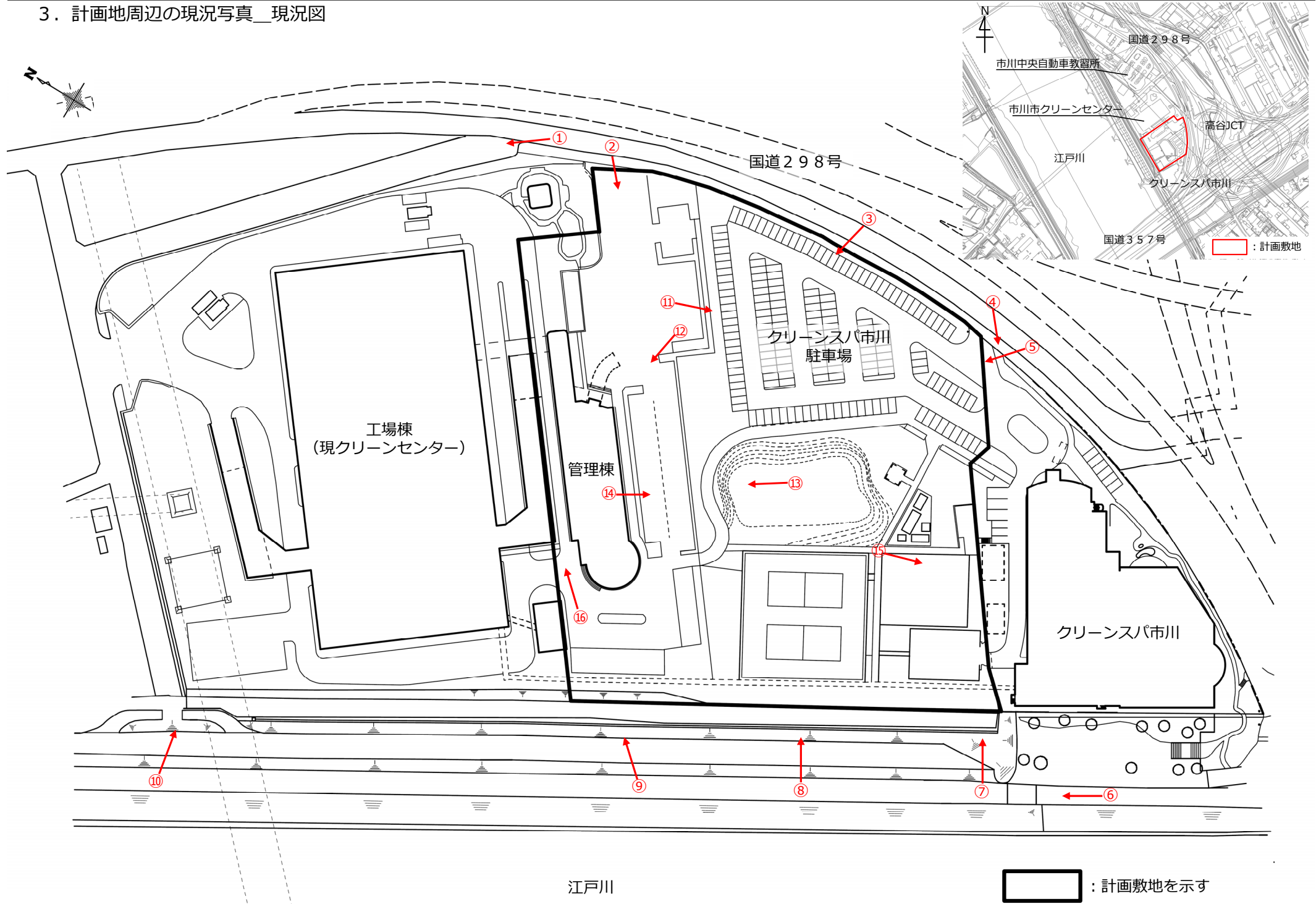
【人々のふれあいを育む、「楽しいみち」をつくる】
幹線道路が周辺地域に調和した人々のふれあいの場となる
ように、安全で快適なみちづくりとうるおいある沿道景観
づくりをすすめる。

本計画は、「市街地ゾーン」、「河川・臨海ゾーン」、「幹線道路沿道ゾーン」の3区分にかかるため、建築物等の外観は、それぞれの区分別方針を考慮する。

予定スケジュール

年度 R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031
事業者選定						
基本・実施設計						
建設工事						
試運転						
供用（稼働） 開始						

3. 計画地周辺の現況写真_現況図



3. 計画地周辺の現況写真



①東側道路_国道298号 周辺



②管理棟出入口



③東側道路_国道298号から計画敷地



④既存建物_クリーンスパ市川



⑤東側道路_国道298号から計画敷地



⑥江戸川 周辺



⑦江戸川から計画敷地



⑧江戸川から計画敷地



⑨江戸川から現クリーンセンター



⑩江戸川から現クリーンセンター



⑪計画敷地_クリーンスパ市川駐車場



⑫既存建物_管理棟



⑬計画敷地から管理棟



⑭計画敷地_全体



⑮計画敷地からクリーンスパ市川



⑯現クリーンセンター及び管理棟

4. デザイン方針

「市川市次期クリーンセンター施設整備基本計画」

【基本方針】

- ①効率的に熱エネルギーを回収する施設とする。
- ②安全性・安定性に優れた施設とする。
- ③災害に対して強靱な施設とする。
- ④市民への情報発信の拠点となる施設とする。
- ⑤経済性に優れた施設とする。

【平成29年景観審議会でのご意見等】

- ・ごみ処理を積極的に市民に見てもらう試みを検討すること。
- ・煙突のデザインを含め、電車等から見える景色を考慮すること。
- ・市川らしさのある施設として色等を検討すること。
- ・ごみ処理について問題提起できるようなデザインを考慮すること。

【評価項目】

- ①効率的に熱エネルギーを回収する施設
- ②安全性・安定性に優れた施設
- ③災害に対して強靱な施設
- ④市民への情報発信の拠点となる施設
- ⑤経済性に優れた施設
- ⑥環境に配慮した施設
- ⑦周辺環境と調和した施設（デザイン）
- ⑧その他

魅力ある外観及び煙突のデザイン（※落れ者による技術提案内容の抜粋）

カーボンニュートラル推進のシンボルとなる建屋デザイン

東京外かく環状道路、東京湾岸道路からよく見える南西面、南東面を「施設の顔」と捉え、カーボンニュートラル化を先導する、クリーンエネルギー創出の取り組みを魅せるデザインとします

ごみ発電を魅せる “オープン構造”

- ・ごみ発電の心臓部であるボイラが外から見えるデザインとします。
- ・煙突を鉄骨造とし、透け感のあるデザイン

太陽光発電を魅せる “創エネデザイン”

- ・市松格子状にパネルを配置した特徴的な外装デザイン

ごみ発電を魅せるデザイン

- ・炉室上部の屋根と壁をなくしたオープン構造
- ・換気に伴う消費電力を大幅に削減し、脱炭素に貢献

透け感のある鉄骨造の煙突

壁面太陽光発電（市松格子状）

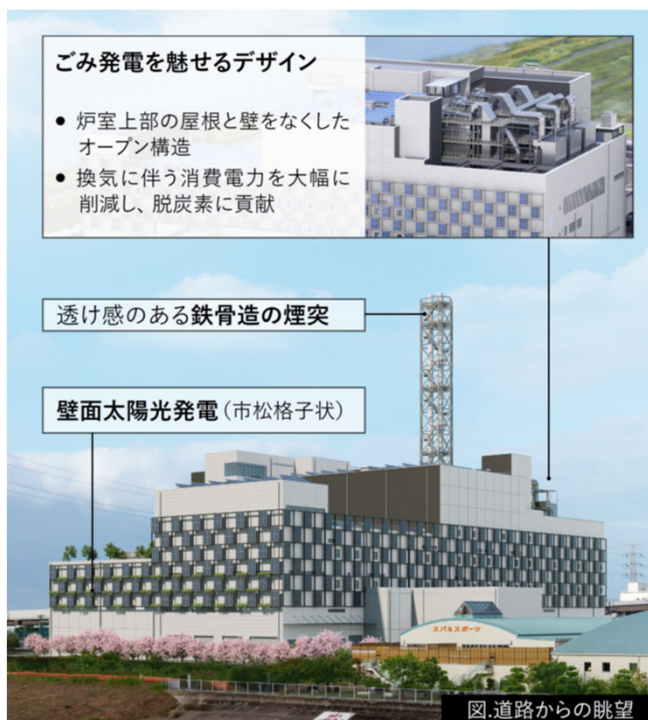


図.道路からの眺望

江戸川の豊かな自然と調和するグリーンカーテン

- ・江戸川沿岸部からのグリーンカーテンを創出することで、周辺の自然環境と調和を図ります。
- ・小動物受付棟の周りに高木等を植栽し、他とは切り離された、心落ち着く穏やかな空間を形成します。



図.堤防側からの風景

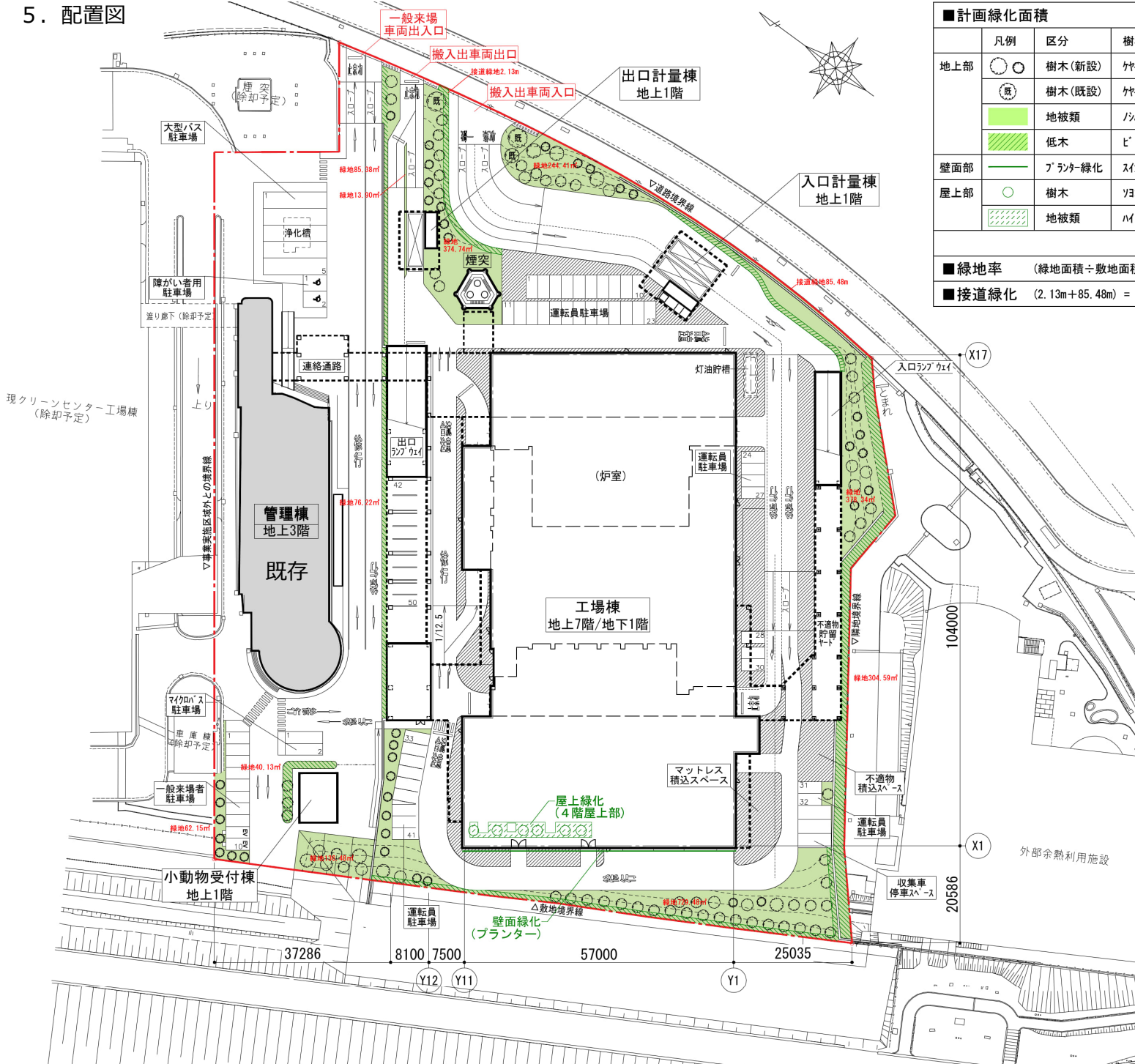
本市のエリア価値を高める夜景づくり



- ・クリーンエネルギー創出拠点として、穏やかな明かりで市民を迎えます。
- ・持続可能な未来へ向けて取り組む姿を体現し、市民が愛着を持てるデザインを目指す。
- ・周辺交通や環境を考慮し、特に近景での光害や交通障害を防止する照明計画とします。



5. 配置図



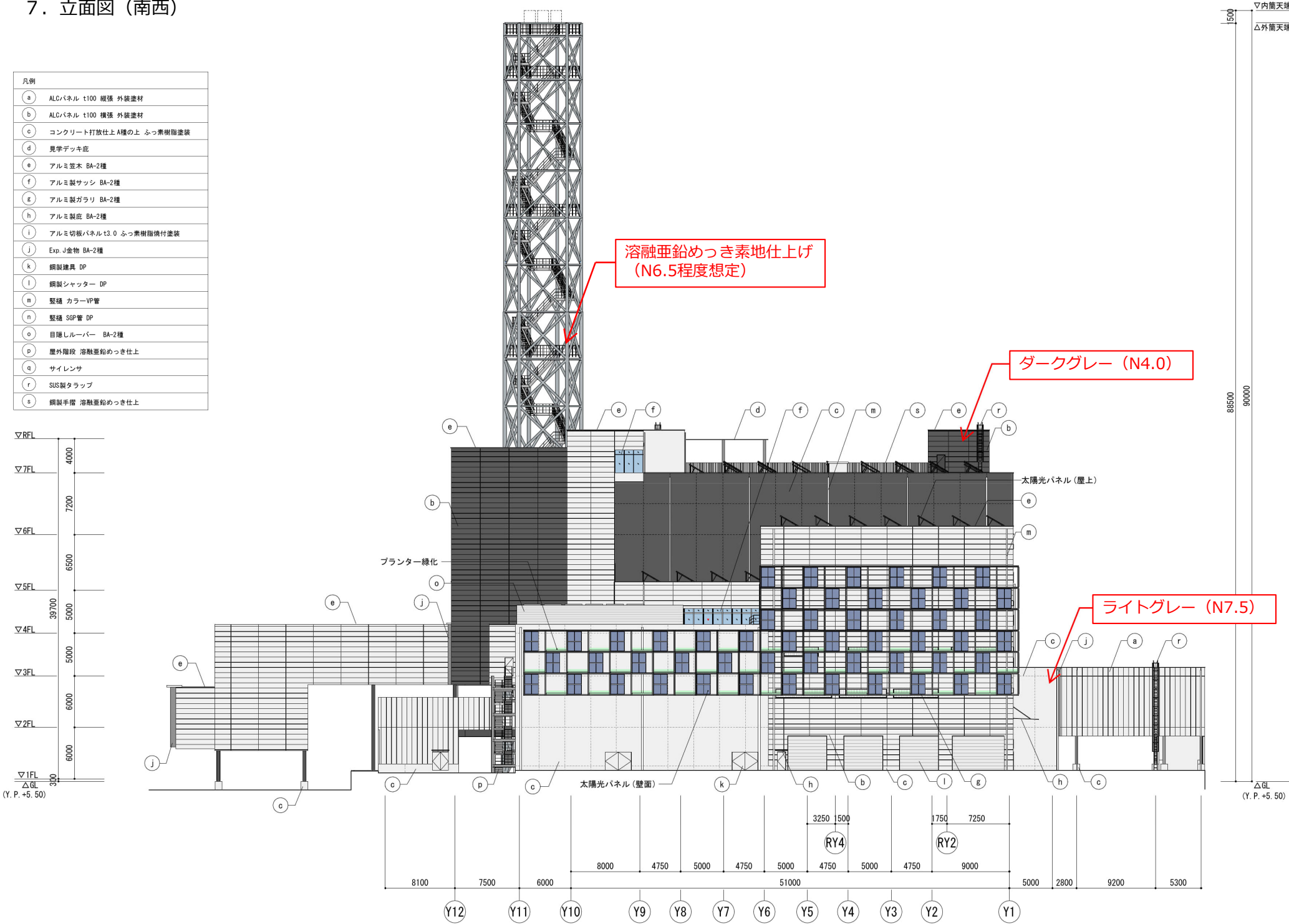
■計画緑化面積					
	凡例	区分	樹種例	緑化面積	備考
地上部	○ ○	樹木(新設)	ケヤキ, ヤマモモ, ソメイヨシノ, ヤマブキ, ウシ, シラカシ, ソコ	—	地上部の地被類を算定
	○ (底)	樹木(既設)	ケヤキ, ヤマモモ	—	地上部の地被類を算定
	■	地被類	シシバ	1786.22㎡	
壁面部	■	低木	ヒヨウヤナギ, ヒイラギ, ナンテン, ヒサギ	659.60㎡	9株/㎡
	—	プランター緑化	スライム, ササ, ラ, ヤブラン	20.40㎡	16株/㎡
屋上部	○	樹木	ソコ, ヤマブキ, ヒメシヤ	—	屋上部の地被類を算定
	■	地被類	ハイビヤクシ	68.75㎡	9株/㎡
合計				2534.97㎡	
■緑地率 (緑地面積÷敷地面積) × 100 = (2534.97㎡÷21,175㎡) × 100 = 11.971 ≈ 11.97%					
■接道緑化 (2.13m+85.48m) = 87.61m					

計画樹木本数		
区分	高さ	本数
高木(新設)	樹木(H4.0m以上)	25本
高木(既設)	樹木(H4.0m以上)	3本
中木(新設)	樹木(H2.5m以上4.0m未満)	89本(屋上部含む)
低木(新設)	樹木(H1.0m未満)	659.60㎡(9株/㎡)

主要用途 : ごみ処理場
建築面積 : 9,777.90㎡
延べ面積 : 19,524.06㎡
建蔽率 : 46.1%
容積率 : 90.2%
基礎形式 : 杭基礎
構造 : SRC造/RC造/S造
規模 : 地上7階/地下1階
最高高さ : 40.55m
その他工作物 : 煙突(高さ90m)

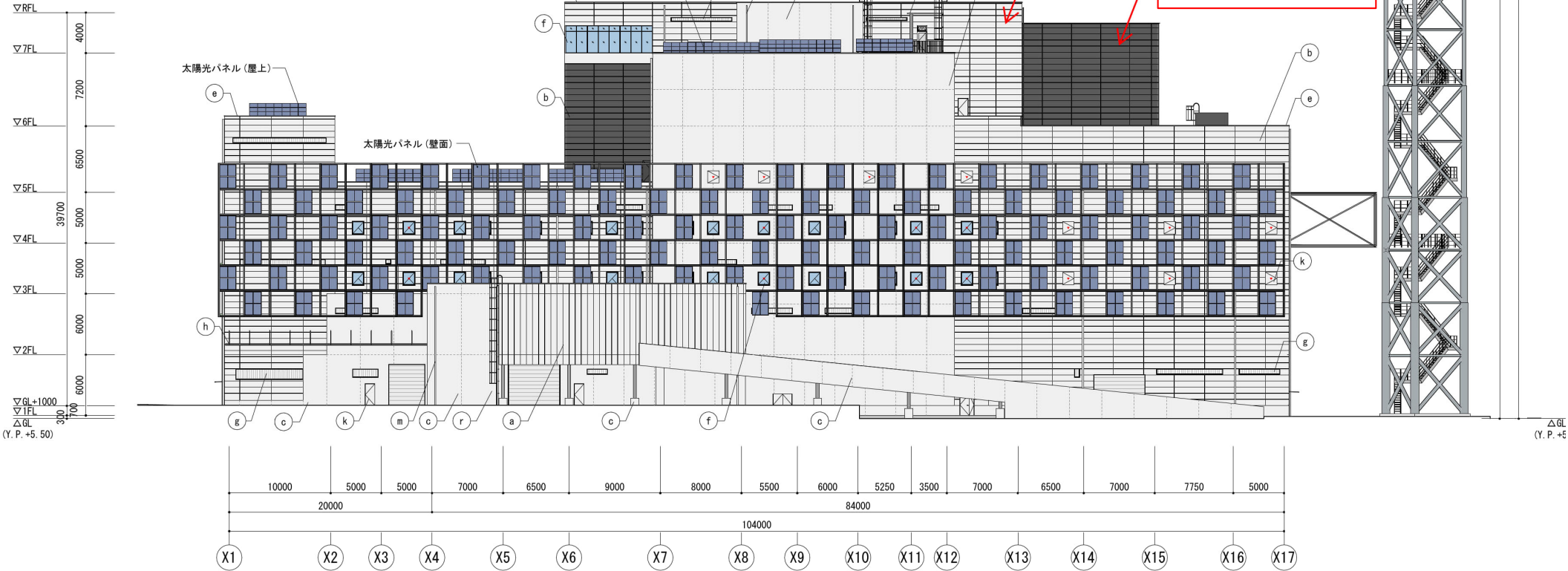
※技術提案時のもの

7. 立面図（南西）

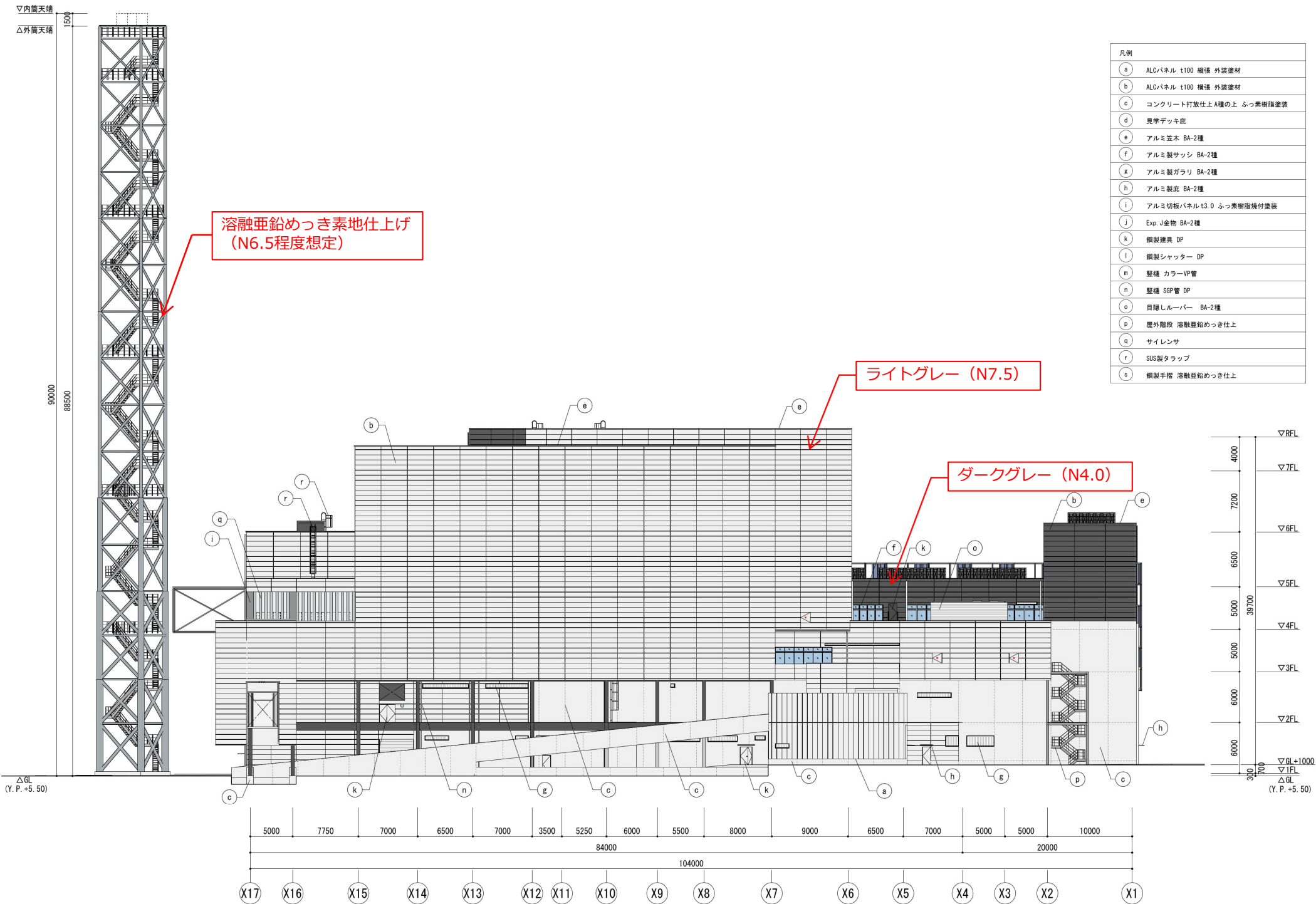


7. 立面図（南東）

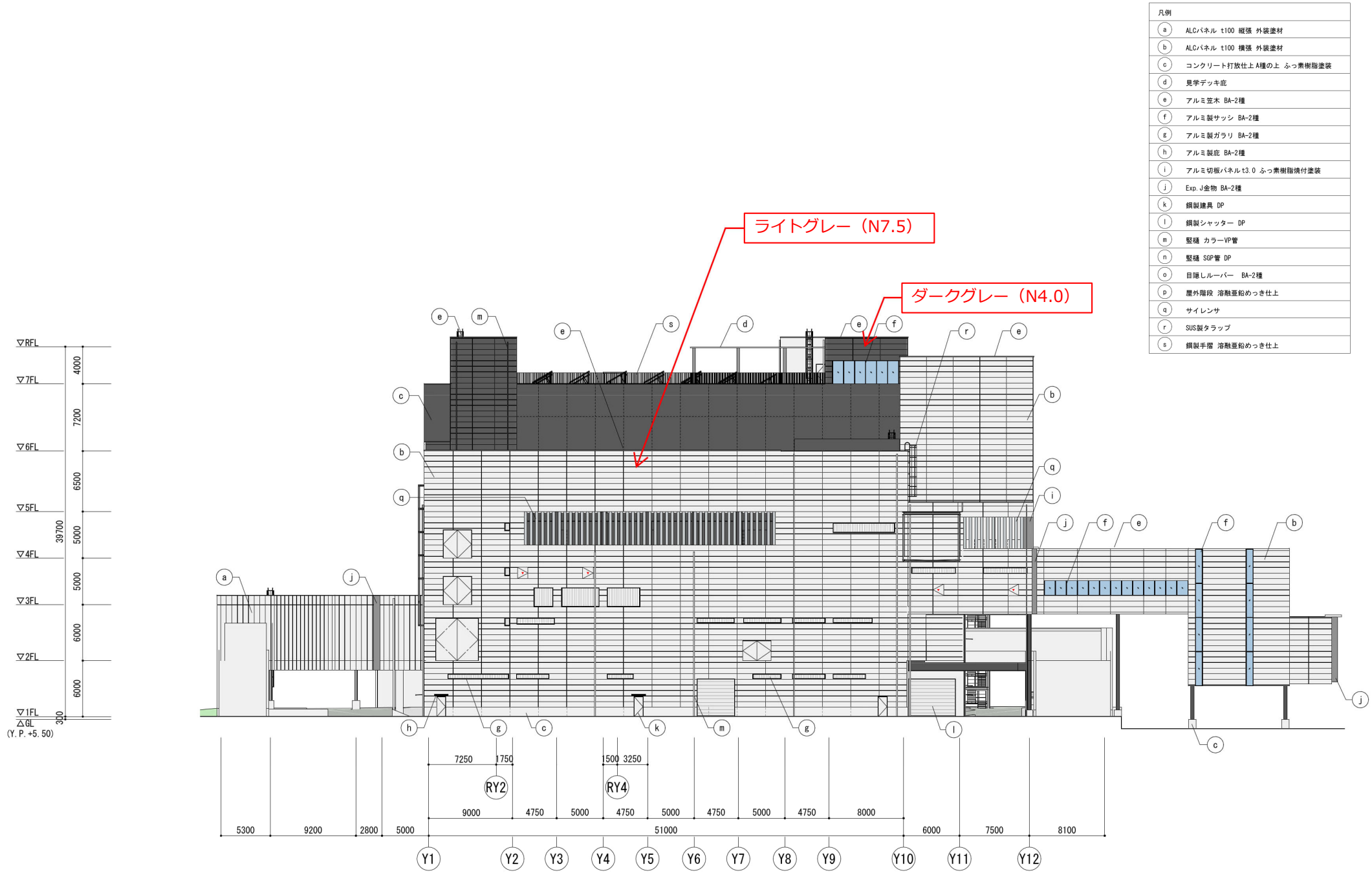
凡例	
a	ALCパネル t100 縦張 外装塗材
b	ALCパネル t100 横張 外装塗材
c	コンクリート打放仕上 A種の上 ふっ素樹脂塗装
d	見学デッキ庇
e	アルミ笠木 BA-2種
f	アルミ製サッシ BA-2種
g	アルミ製ガラリ BA-2種
h	アルミ製庇 BA-2種
i	アルミ切板パネル t3.0 ふっ素樹脂塗装
j	Exp. J金物 BA-2種
k	鋼製建具 DP
l	鋼製シャッター DP
m	堅樋 カラーVP管
n	堅樋 SGP管 DP
o	目隠しルーバー BA-2種
p	屋外階段 溶融亜鉛めっき仕上
q	サイレンサ
r	SUS製タラップ
s	鋼製手摺 溶融亜鉛めっき仕上



7. 立面図（北西）

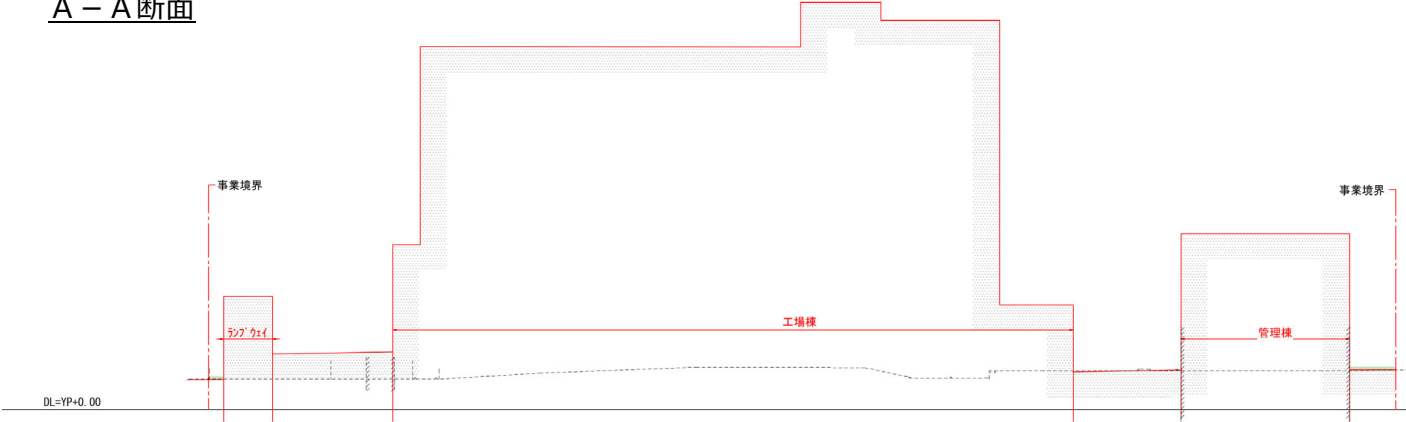


7. 立面図（北東）

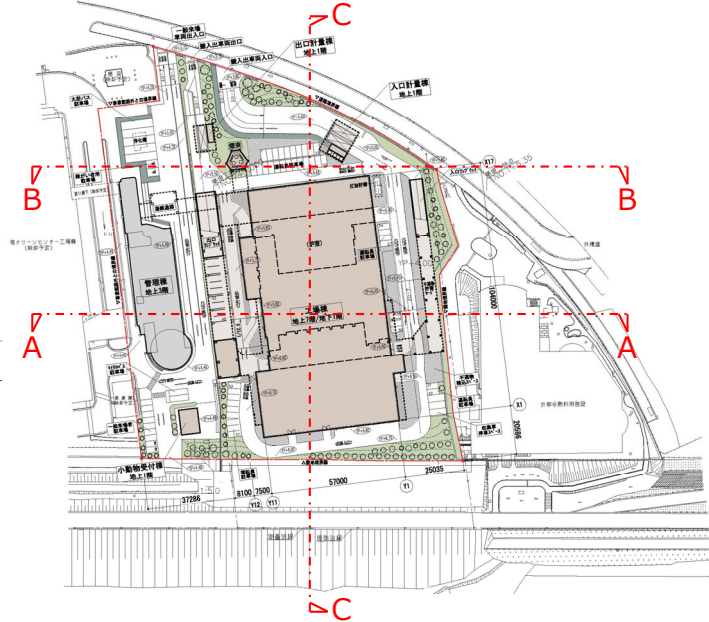


8. 断面図

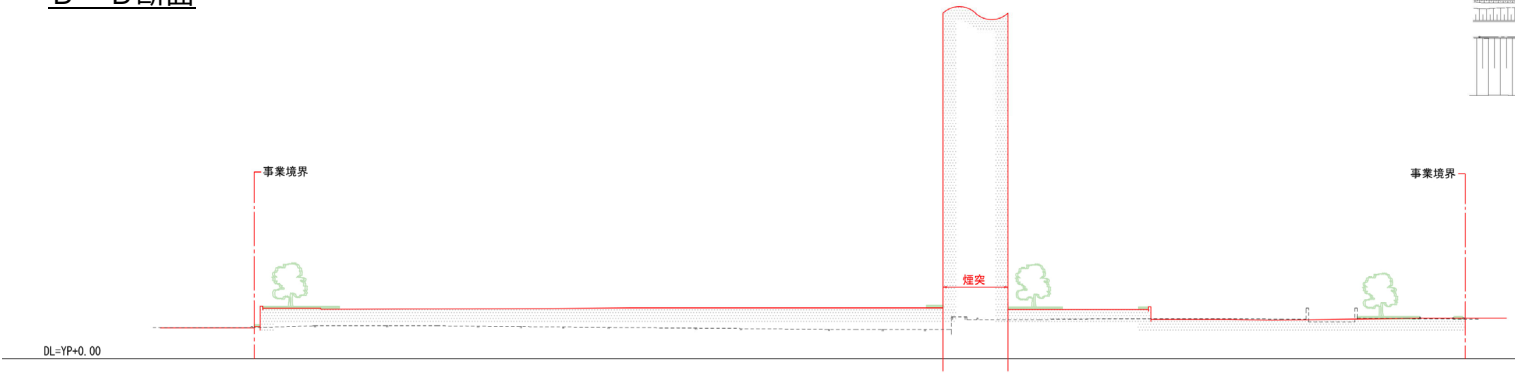
A - A 断面



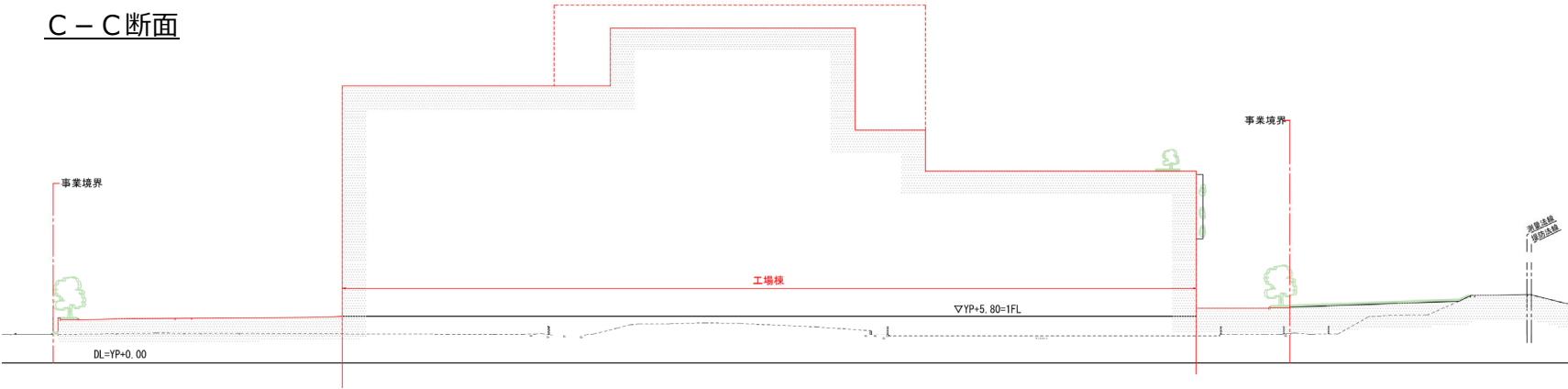
断面キープラン



B - B 断面



C - C 断面



9. パース_南側鳥瞰



9. パース__南西側アイレベル



9. パース_東側アイレベル



9. パース_夜間南側鳥瞰

